

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2024年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	インターンシップ				授業形態	実習			
科目コード	219700	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	日高 英二							ICT活 用	○
授業概要	<p>企業、公共団体、法人等における就業体験を通して、専門科目等で習得してきたことに磨きをかけ、実践力を養う。卒業後の進路を視野に入れ、自分の適性、将来の目標をさらに明確化できることを目指す。また、未体験のことを実際に経験できる貴重な機会であることを十分に認識し、目的意識をもって自ら行動を起こす。これによって、自主性、創造性を確立し、自己の可能性を高めることを目標とする。</p>								
関連する科目	実際に訪問先によって、それぞれ関連する科目は異なる。								
授業の進め方と方法	訪問先の考え、都合を優先する。ただし、訪問先で与えられたそれぞれの仕事内容をいかに効率的かつ正確に実施できるかを常に考えておく。								
授業計画【第1回】	<p>授業の性質上、回数ごとに内容を明示することが困難であるが、概ね以下のよう流れとなる。</p> <p>1. 全体説明；</p>								
授業計画【第2回】	2. 受け入れ先への申し込み；								
授業計画【第3回】	3. 受け入れ報告；								
授業計画【第4回】	4. 保険加入；								
授業計画【第5回】	5. 受講①；								
授業計画【第6回】	6. 受講②；								
授業計画【第7回】	7. 受講③；								
授業計画【第8回】	8. 受講④；								
授業計画【第9回】	9. 受講⑤；								
授業計画【第10回】	<p>10. 受講確認①；</p> <p>研修終了時に受け入れ先の担当者からインターンシップ受講確認書書いていただく。</p>								
授業計画【第11回】	11. 受講確認②；								

授業計画【第12回】	12. 受講①～②のレポート作成：
授業計画【第13回】	13. 受講③～④のレポート作成②：
授業計画【第14回】	14. 受講⑤のレポート作成③：
授業計画【第15回】	15. 報告会：
授業の到達目標	インターンシップは、手続するところから既に始まっていることを十分に認識した上で、受け入れ先に失礼のないよう誠実に準備、実施する。【コミュニケーションスキルの育成】 また、研修終了まで責任を持って業務の遂行に当たり、担当者等先方に信頼を得られるような能力を身に着ける。【生涯学習力の育成】
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	研修実施前のビジネスマナー等の把握のために2時間程度。
授業時間外学習【復習】	研修後の反省およびレポート作成、さらにお礼状の作成に3時間。
課題に対するフィードバック	学期末にインターンシップ全実施者による報告および反省会を実施し、教員も含めて参加者全員で質疑応答を行う。
評価方法・基準	●1日体験×6回(単位認定) ●同一企業で連続6日(単位認定) レポートの提出を義務づける(研修前および研修中の活動内容、また研修で得られた成果、さらには今後の展望なども含めて作成する)。
テキスト	なし
参考書	就職課に参考書あり
備考	インターンシップの実施条件として、以下の点を遵守すること。 1) 報酬；報酬無し 2) 研修時間；受け入れ先の就業規則に従う(ただし、実施時間は積算で45時間以上とする) 3) 研修内容；受け入れ先の就業内容に従う 4) 経費；自己負担(詳細は受け入れ先と相談する) 5) 守秘義務；受け入れ先の企業秘密は、一切口外してはならない 同一企業で5日間の方が、就職に有利に働く傾向になっていく。